

豊明市行政評価制度 「事務事業」評価票

一般事務事業	経常事務事業	建設事務事業
--------	--------	--------

第5次行政改革大綱第1次アクションプランとの関連	
<input type="checkbox"/> 有	
<input checked="" type="checkbox"/> 無	

1 事務事業の概要

1-1 事務事業の名称	図書館のリフォーム事業(主要事業)							
1-2 担当	部	教育部	課 又は施設	図書館	係	図書係	評価票作成者	図書担当係長 柴田 初美
1-3 総合計画における施策の体系	節	教育文化 「個性ある文化と豊かな人間性を育むまちづくり」			基本施策	図書館	コード	4 1 4
	項	生涯学習の推進			単位施策(中)	施設の充実	コード	4 1 4 1
					単位施策(小)	施設のリフォーム	コード	4 1 4 1 2
1-4 事務事業の目的の精査	対象と対象の数	休憩室等	意図(対象を事務事業によってどのような状態にするのか)		図書館の来館者に快適な環境で利用していただく。			
1-5 事務事業の内容	長時間読書を楽しんでいる方が、少しの間休める憩いの場所を提供するなど、快適な図書館空間の整備をする。							

2 事務事業実施の状況

2-1 事務事業の実施における基本認識	平成18年度	事務事業実施にあたって心がけた改善の取組み 館内にあった喫煙場所を屋外に設置した。	社会状況等の事務事業がおかれる環境把握 公共施設については、全面的に禁煙状態である。	市民ニーズの認識 現在では、公共施設は全面的に禁煙状態が常識になっている。
	平成19年度	授乳室に充てる部屋を整備した。	授乳スペースがある公共施設が多くなってきた。	プライバシーが守られ落ち着いて授乳できるスペースが求められている。
	平成20年度			
	平成21年度			
	平成22年度			
	平成23年度			
	平成24年度			
	平成25年度			
	平成26年度			
	平成27年度			

2-2 総合計画における単位施策成果指標	事務事業成果指標名		前期目標値(単位)	後期目標値(単位)	指標の説明	
	施設のリフォーム		2(件)	4(件)	快適な図書館空間の整備を進める指標 なしの部屋・その他	前期 喫煙室・授乳室 後期 おは

2-3 成果指標に係る活動実績とコストの推移(アウトプット分析)	活動実績 a(件)	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
	直接事業費 b(千円)	1	1								
	人件費 c(千円)	598	69								
	合計コスト d(b+c)(千円)	3	3								
	単位コスト d/a(千円)	601	72								
		1件当たり 601	1件当たり 72	当たり	当たり	当たり	当たり	当たり	当たり	当たり	当たり

アウトプット実績(活動数値)の補足説明 → 臨時授乳室の整備費 69,000円 1人1H 3200円

		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
2 - 4 成果指標に対応する実績と達成度の推移	指標対応実績(単位)	1(件)	2(件)								
	後期目標値に対する達成度(%)	25.0(%)	50.0(%)								

3 事務事業の自己評価結果

3 - 1 評価結果(アウトカム自己分析)		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
	単年度担当課評価	A	A								

4段階評価結果
A : 上位目的である施策に貢献しているので継続する
B : 事務事業の実手法や環境(予算的・人的)に改善が必要
C : 縮小等、事務事業としての見直しが必要
D : 事務事業の廃止が相当

判断の基準
必要性(必要な事務事業であるか)
公共性(公が実施する意味があるか)
妥当性(ニーズに対して投入が適正か)
効率性(結果に至る活動に無駄はないか)
有効性(活動の結果が上位の目的に貢献しているか)
市民満足度(事務事業が対象にしている市民を満足させているか)

3 - 2 評価の内容		今後の環境変化を踏まえた課題認識	次年度に向けて改善する取組み	事務事業の担当課としての単年度の取り組みの自己評価
平成18年度 平成19年度 平成20年度 平成21年度 平成22年度 平成23年度 平成24年度 平成25年度 平成26年度 平成27年度	平成18年度	限られたスペースで設計しなければならない。	授乳室の要望があるため、設置場所やその設計。	喫煙室を屋外に設置し、今までの喫煙室のスペースは利用者が飲食できる休憩室に変更した。
	平成19年度	安心して利用できる施設が望まれる。	おはなしの部屋が安全性に欠けるため改修が必要。	2階和室を整備して臨時的授乳室に充て、落ち着いて授乳できるスペースを確保した。
	平成20年度			
	平成21年度			
	平成22年度			
	平成23年度			
	平成24年度			
	平成25年度			
	平成26年度			
	平成27年度			

4 事務事業の総合評価結果

4 - 1 総合評価の結果		結果	審査会による改善方向の指示
平成18年度 平成19年度 平成20年度 平成21年度 平成22年度 平成23年度 平成24年度 平成25年度 平成26年度 平成27年度	平成18年度	A	継続して事業を進めること。
	平成19年度	A	継続して事業を進めること。
	平成20年度		
	平成21年度		
	平成22年度		
	平成23年度		
	平成24年度		
	平成25年度		
	平成26年度		
	平成27年度		